科目ナンバリング	U-LAS02 10016 LJ37						
授業科目名 <英訳>	言語科学II Introduction to Linguistic Science II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　河崎　靖		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

言語学という分野が「ことば」をどのように捉えているかについて概観する。言語学の各レベル（音・文法・意味・語彙等）にわたって考察を行う。

[到達目標]

言語体系の普遍的な法則性を探るべく考究を進める。印欧諸言語を対象に、ことばの普遍性・体系性を明らかにすることを目標とし、ことばの諸相を観察することによって、多様性の背後に見え隠れする言語の普遍的特質を追求する。言語体系の法則性・言語変化のメカニズムを探り、そのあり方を解明する力を養成することを目指す。

[授業計画と内容]

世界の諸言語を視野に収めながら、ことばの普遍性・体系性を明らかにすることを目標とする。一般言語学の諸分野（音論、形態論、統語論等の諸領域）を対象に、言語体系の普遍的な法則性を探るべく、通時的・共時的考究を進める（第１回～第５回）。比較言語学的な方法と併せて、言語の理論的考究による種々の成果を踏まえ、言語学の方法論上の問題についても考察する（第6回～第10回）。言語類型論なアプローチ等により、ことばの諸相を考究することによって、多様性の背後に見え隠れする言語の普遍的特質を追求する（第11回～第14回）。フィードバック（第15回）。

1. 言語学とは
2. 言語の音（音声学・音韻論）
3. 語の構造（形態論）
4. 文の構造（統語論・テクスト言語学）
5. 語・文の意味（意味論）
6. 発話の意味（語用論）
7. 言語の変化（歴史言語学）
8. 言語の比較（比較言語学）
9. 言語の比較（言語類型論）
10. 言語のバリエーション（社会言語学）
11. 世界の言語と日本語
12. 言語習得
13. 文字論
14. 言語研究の歴史
15. フィードバック

[履修要件]

特になし

言語科学II(2)へ続く↓↓↓

言語科学II(2)

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、授業への参加度（50%）・中レポート（25%）・小レポート（25%）に基づく。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
他は授業中に紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介する文献に目を通し理解を深めること。

[その他（オフィスアワー等）]

紹介する文献に目を通し理解を深めること

[主要授業科目（学部・学科名）]